

課題遂行の達成を目的とした日本語 e ラーニングコンテンツ

「まるごと+」ウェブサイト「ドラマでチャレンジ」コンテンツの開発 川嶋恵子・田中哲哉(国際交流基金関西国際センター)

「まるごと+ (まるごとプラス)」 <http://marugotoweb.jp>

『まるごと 日本のことばと文化』学習者用サポートサイト

- ・ JF 日本語教育スタンダード準拠
- ・ 目標を Can-do で表現
話す・やりとり→3 9
読む→9 書く→4
- ・ 自己評価、ポートフォリオの作成を推奨
- ・ 9つのトピックから構成



(国際交流基金 2013)

○ターゲットユーザー

『まるごと』を使って学習する海外の成人日本語学習者
(JF 日本語講座で『まるごと』を使って学ぶ学習者)
日本語や日本の文化に興味がある人
入門 (A1) レベル

○制作コンセプト

- ①日本語を使ってできることが増やせる
- ②リアリティのある練習ができる
- ③大人が楽しく使える

○コンテンツ

- ・ やってみよう Communication Activities
かくにん・れんしゅう・チャレンジ
ドラマでチャレンジ
- ・ せいかつとぶんか
- ・ イントロダクション
- ・ トレーニング: ひらがな・カタカナ・かんじ・ごい・タイピング



■動画を使った e ラーニングコンテンツ

○レビュー対象とした言語学習コンテンツ

目標言語	形態	数
日本語	ウェブサイト	9
英語	ウェブサイト	1
	書籍付属ディスク	1
スペイン語	ウェブサイト	1

* 具体的なコンテンツ名は予稿集を参照のこと。「まるごと+」ウェブサイト作成のためにレビューを行ったコンテンツは上記の他にも多数ある。

○動画利用コンテンツの傾向

【動画を使用する目的】

- ・ 会話場면을提示する
- ・ 学習項目となっている表現 (文型等) や語彙のインプット

【動画の種類】

- ・ 一定時間視聴させる
→ 基本は再生するのみ
- ・ コマ画を連続して見せる (紙芝居形式)
→ 展開の途中でボタンクリックによる音声再生ができるなどの機能も

【コンテンツのタイプ】

- ・ ウェブ上でできる練習機能が備わっているもの
受容のタスク: 内容理解、ディクテーションとしての穴埋め
産出のタスク: パート練習、発話練習
- ・ 動画と一緒に用いることができる資料が提供されているもの
会話スクリプト、対訳、語彙リスト等
- ・ All in one のもの
動画中での文法等の解説、会話場面等の提示、動画を使った練習など、学習に必要なステップをカバーしている

➡ 目指すのは...

実写動画を使った実際のコミュニケーションをイメージしながら練習できるコンテンツ
田中ほか (2011: 164) の指摘を踏まえた、使いやすいコンテンツ (機能が多すぎない、構造が複雑ではないもの)
ユーザーが使用するモチベーションに関わると予想できる「映像の美しさ」「音声の明瞭さ」にこだわったコンテンツ

👑 ドラマでチャレンジ Challenge Drama 👑

ユーザーが主役になって、日本でのコミュニケーションを疑似体験

✓ ストーリー: (限られた) 日本語を使ったコミュニケーション

「あなた (=ユーザー)」は、日本人の家族の家にホームステイしたり、日本語を勉強したりしながら、日々いろいろな人たちと交流。
全9トピックを通して、共通の設定で教科書に学習する50の Can-do が織り込まれたストーリー。
場面設定は、「ユーザー自身のブログ」で表現。

✓ 映像: 1人称目線で、ユーザーが主人公に

ユーザー自身がストーリーに入り込み、発話する必然性が感じられる映像。
撮影は機関外でロケ (日本の家屋、デパート、ファストフード店、タクシー、観光地など) を行い、海外の学習者に日本の町の様子を見せる目的。

■ユーザーの使用イメージ

教室でのインプット、練習



日本語を使用する経験の提供 達成感 自己評価のためのツール

→ わからなかった場合は、「れんしゅう」かくにんコンテンツで復習



文字・日本語の習熟度に応じて、漢字・かな/ローマ字/Englishの切り替えが可能

「ドラマ」を強調する劇場風のデザイン

✓ 使い方: 映像の中の人と疑似的に会話

映像の中の合図は、ユーザーへの発話のキュー。
キューが出たら、映像が一時停止している間に発話する。
(一定の時間が経過すると、自動的に再開)

「Your turn」をクリックすると、発話例を表示。自分の発話
が正しかったかどうか、モデルを見て確認できる。
答え方に迷いそうなターンでは、キャラクターがサポート。

■反響

- ・ 表現は知っていても会話でどういったらいいかわからない場合がある。その練習としてよい。
- ・ 海外の学習者に不足しがちな実際のコミュニケーション場面をある程度補うものだと思う。
- ・ 授業の終わりにクラスでビデオを見て答えるという活動をしている。習ったことのまとめとして有効。
- ・ 実践的な日本語の練習ができる。・Your turn も音声で確認したい。
- ・ 人物設定がわかりにくいので、ストーリーに入り込みにくい。
- ・ ユーザーが答えを選んで、ストーリーが分岐するようなものであれば、もっとインタラクティブになる。
- ・ 教科書は使っていないが、おもしろい仕掛けのコンテンツ。同様の内容を学習している人にぜひ紹介したい。

■アクセス状況 (サイト全体)

内部公開: 2012年9月25日 一般公開: 2013年2月28日

PV数: 232,271 UU数: 17,572

アクセス元の国・地域 (上位10か国)

日本、ベトナム、メキシコ、米国、フランス、英国、スペイン、イタリア、カナダ、ロシア

■今後の課題

- ・ 学習者からの反響の収集
- ・ 『まるごと』を使用している人、使用していない人、それぞれに向けたサイトの使い方の提案